

モンタナ州立大学ビリングス校冬期英語研修 報告書

総合管理学部 総合管理学科 2年 井芹 麻莉乃

はじめに

私は2月12日から3月14日までの約1か月間、アメリカのモンタナ州にある、モンタナ州立大学ビリングス校（MSUB）の短期英語研修（Winter ESL program）に参加しました。現地では英語での授業や寮生活、ホストファミリーとの交流など、普段の生活ではできない多くの経験をすることができました。この研修は、英語力の向上だけでなく、アメリカの文化を実際に体験し、世界の広さを知るとともに、自分にとって人生における豊かな経験になると考えて参加しました。

学習内容・活動について

今回の研修で特に印象に残っているのは、アメリカの小学校を訪問し、日本の文化について教えたことです。箸の使い方や習字、折り紙などを紹介し、現地の子どもたちと交流しました。自分の国の文化を英語で相手に分かりやすく伝えることの難しさを感じると同時に、とても貴重な経験になりました。

授業は、朝9時から writing、10時から listening、11時から reading、昼休みを挟んで13時から speaking というスケジュールで行われました。英語漬けの環境の中で学ぶことで、日本とは異なる授業の進め方や雰囲気を実感しました。特に、生徒が積極的に発言し、プレゼンテーションを行う機会が多いことが印象的でした。

また、金曜日にはダウンタウン散策や映画鑑賞、ハートマウンテンへの訪問などのアクティビティがあり、学習以外の面でも多くの経験をすることができました。今年は例年と異なり、平日は寮で生活し、土日はホストファミリーと過ごしました。初めての環境に戸惑うこともありましたが、寮生活を通して友人ができ、大学のイベントにも参加することができました。

自分にとっての学び

この研修を通して、私は多くのことに気づきました。アメリカの授業はとても活発で、生徒一人ひとりが自分の意見を持ち、堂々と発言していることが印象に残りました。また、キャンパスの広さやイベントの多さから、大学生活のスケールの大きさにも驚きました。

出発前の私は、失敗することを恐れて積極的に行動することができませんでした。しかし、今回の経験を通して、失敗を恐れずに挑戦することの大切さを学びました。その結果、初対面の人にも自分から話しかけることができるようになり、以前よりも積極的に行

動できるようになったと感じています。

一方で、自分の課題も明確になりました。英語で自分の考えをうまくまとめて伝えることが難しく、言いたいことが十分に表現できない場面が多くありました。しかし、翻訳に頼らず自分の力で伝えようと努力したことは、自分にとって大きな成長であったと感じています。

今後に向けて

今後は、この経験を生かし、英語学習を継続していきたいと考えています。日常的に英語に触れる機会を増やし、TOEICで自己ベストを出せるようにし、TOEFLにも挑戦していきたいです。そして、将来的には自分の考えを英語でしっかりと伝えられるようになることを目標に、努力を続けていきたいと思います。

